



発行：西宮市議会 編集：広報広聴特別委員会 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号 ☎(0798)35-3376



「鷲林寺の紅葉」 撮影：多治見 寛之 さん(染殿町在住)

公募した作品の中から、広報広聴特別委員会においてこの作品が選ばれました。

## 9月定例会 第133号

目次

- 一般質問……………2～7
- 議員の辞職、委員の辞任……………7
- 9月定例会主な審議日程……………7
- 各委員会の活動状況……………8～10
- 高校生が西宮市議会へ……………10
- 議案等審議結果一覧表、12月定例会の開催予定……………11
- 議会体感ツアーを開催!!……………12
- 西宮市議会広報誌デザインコンテスト……………12

## 9月定例会の主な内容

### △平成28年度決算△

▽平成28年度の各会計決算を認定しました。一般会計では、扶助費などの社会保障関係経費が増えた一方で、公共施設の建て替えなどの投資的経費が大幅に減り、歳入・歳出とも前年度を下回りました。なお、実質収支は24億6千万円の黒字となっています。

カッコ内は前年度比

一般会計	特別会計 (11会計)	企業会計		
		歳入	歳出	利益(▲純損失)
169億6732万4千円(2.2%減)	90億6211万円(0.7%増)	中央病院事業会計	▲7億2472万円	▲7億2472万円
166億8520万2千円(2.3%減)	89億4312万3千円(0.1%増)	下水道事業会計	12億813万円	12億813万円
		工業用水道事業会計	6億726万円	6億726万円
		水道事業会計	8億8768万円	8億8768万円

### △決議△

▽「北朝鮮のミサイル発射と核実験に抗議する決議」を全会一致で可決しました。内容は、対話による危機打開を模索する国際社会の努力に逆行する北朝鮮のミサイル発射と核実験に対して抗議するとともに、軍事的な挑発を中止するよう求めるものです。

### △所管事務調査△

▽「第5次西宮市総合計画の検討状況」について、総務常任委員会で所管事務調査を行いました。計画期間は31年度から40年度で、市の長期的なまちづくりの指針として基本構想の検討が進められ、計画が策定されます。

▽「卸売市場再生整備事業を含むJR西宮駅南西地区市街地再開発事業」について、民生・建設常任委員会連合審査会で所管事務調査を行いました。卸売市場の集約化と新たな都市機能の誘導を一体的に進める計画で、長年にわたる行政課題の解決に向けた取り組みが進められています。

誌面中、各会派の名称については、次のように記載しています。

政新会…「政新会」、公明党議員団…「公明党」、会派・ぜんしん…「ぜんしん」

日本共産党西宮市会議員団…「日本共産党」、市民クラブ改革…「市民ク改革」、維新プラス…「維新プラス」



はまぐち 仁士(ぜんしん)

障害のある子どもの教育環境の改善について

問 障害のある子どもが希望する幼稚園などに入れるよう、障害の状態に応じた受け入れ体制整備の予算を確保すべきでは。
答 インクルーシブ教育システムの構築の理念を踏まえ、従来の制度を見直し、新たな支援体制を検討するため、29年度から審議会で審議を進めている。

市が作成する印刷物の見直しについて

問 市の印刷物はコスト面に多くの課題がある。費用対効果を高めるため印刷物を精査し契約を見直すなど改善すべきでは。
答 外部発注は、まとめ発注による効果を検証し、指名業者

の増など競争性確保に努める。市内印刷は民間発注とのコスト比較も行い、効率化に取り組む。地域のスーパーなどに

子育てひろばの整備を

問 乳幼児を育てる保護者が孤立しないよう、在家庭児童が多い地域のスーパーなどに子育てひろばを整備すべきでは。

答 今後はスーパー等での子育て相談・支援事業の実施を検討したい。現在、イオン甲子園店閉店後の新施設の開設に際し、子育て支援施設の整備を要望中。



▼その他質問 ヒアリの対応について、わかば園の送迎に関する改善について、放課後等デイサービスの質について、地域猫の活動について、学校教室の基準の作成について

(質問時間78分)

杉山 たかのり(日本共産党)

国道43号線の歩道橋に

エレベーターの設置を

問 国道43号の歩道橋へのエレベーター設置については、28年3月議会でも取り上げたが進んでいない。今後どのように国に働きかけるつもりなのか。

答 現時点では設置場所の特定まではしていないが、今後、歩道橋へのエレベーター設置の可能性を個別に検討・精査し、引き続き国に要望していく。

弾道ミサイル想定

住民避難訓練について

問 米朝間の緊張がエスカレートし、対話による危機回避が求められる中、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練が実施される。実施経緯を聞く。

答 本市では経験のない弾道ミサイル等からの国民保護に係る訓練が必要と考えていたところ、県から国・県・市の合同訓練の打診があり、実施に至った。

核兵器禁止条約が採択

今後の取り組みは

問 29年7月、被爆者や日本共産党も出席した国連会議で核兵器禁止条約が採択された。平

和非核都市を宣言した西宮市民と共に喜ぶたいが、政府は批准を拒否している。条約批准に向け、市として条約採択を市民にどう伝え、運動していくのか。

答 原水爆禁止西宮市協議会などと連携して核兵器禁止条約の採択をホームページなどで周知し、平和の大切さを伝えるため、啓発事業や署名活動を行う。

(質問時間39分)

野口 あけみ(日本共産党)

分野別指導監査の

導入について

問 法人指導課では、介護・障害サービス事業所や保育所など、1454力所もの福祉施設等の指導監査を行っている(29年3月末現在)。そこで、入所者の処遇など、質の向上に重要な役割を果たす指導監査をより一層厳格に行うため、保育分野については介護・障害分野と切り分けて、こども支援局で行う方法もあるが、導入する考えはないか。

答 保育施設の指導監査をこども支援局が行うことで、より専門性を生かした監査ができると考えられる。そのためには人

員増や組織改編が必要であり、現在、調整・検討中である。



障害者就労支援NPO

法人の監査について

問 市内の障害者就労支援NPO法人について、国税調査で約5億円に上る使途不明金が発覚した。市の法人指導課による監査で発見できなかったのはなぜか。

答 27年9月に障害者通所系事業所を対象に書面チェックをしたが、この法人は特に問題がなかった。そのため指導監査の優先対象にならず、29年度の早い時期に指導監査の予定であった。一連の報道を受けて急ぎよ実施した計3回の指導監査では報道された賃金未払い等の事実確認されなかったが、現在も指導監査を継続中である。

(質問時間55分)

一色 風子(無所属)

芦屋市とのごみ処理  
広域化について

問 広域処理施設を将来更新する際の立地原則を、広域化の方向性を決める検討会議で決めておくべきだ。市の考えは。

答 施設更新はかなり先であり、ごみや技術革新など処理環境の大きな変化が予想される。施設更新の検討過程で立地を含め適切に判断すべきと考える。

芦屋市と取り扱いは  
違ごみの回収方法は

問 芦屋市では回収されていない「その他プラスチック」の取り扱いは、西宮市の方法に統一することを検討会議で明らかにすべきだ。市の考えは。

答 分別区分等は処理する側に合わせる方向で議論中だ。広域処理施設の候補地である本市の循環型社会形成に向けた処理方針をもって検討会議に臨む。(質問時間21分)

中尾 孝夫(市民多数)

満池谷火葬場の  
受付を終日に

問 満池谷火葬場の火葬炉の

予約受付時間は9時から17時半までだが、阪神間の各市町や神戸市と同様に終日受け付けるべきだと考えるがどうか。

答 神戸市におけるFAXや留守番電話サービス、尼崎市における電話予約案内システムなど、他市の事例を参考に、30年度の指定管理者の更新に合わせ終日受け付けの導入を図る。

白水峡公園墓地内の  
移動手段充実を

問 白水峡公園墓地は非常に広大・急勾配であり、徒歩移動は大変だ。墓地内の移動手段の確保に向けた取り組み状況は。

答 29年度は繁忙期のお盆における参拝者数を調査した。今後は、園内の車や歩行者の動線等を調査しつつ、繁忙期の安全性確保や閑散期の費用対効果を精査し、参拝者の利便性を向上させる方法を調査・検討する。

さくらやまなみバス  
値下げの時期とその額は

問 盤滝トンネルの無料化は30年4月を基本としている。そこを通行しているさくらやまなみバスの運賃の値下げが想定されるが、どう対応しているか。

答 西宮北有料道路の無料化

に合わせ、さくらやまなみバスの盤滝トンネル区間を運行する運賃を値下げする予定である。現在バス事業者と協議中で、50円程度の値下げを見込んでいる。(質問時間46分)



さくらやまなみバス

八代 毅利(公明党)

街路樹の安全管理について

問 5月26日、芸文センター西側歩道上の原木が風もないのに突然倒れた。街路樹の危険度診断と危険木の伐採の進捗は。

答 危険度診断の対象となる約7600本中、28年度までに約3300本は診断済み。27・28年度の診断で伐採すべきなどと判断された危険木307本中、126本は伐採が完了した。残り181本中、市花でもある桜は治療再生も検討し、その他の

危険木は29年度中に伐採予定。市民後見人の候補者を増やすための施策は

本市の市民後見人は1名  
のみで、他市に比べ遅れている。どのように候補者を増やすのか。

答 養成研修に実習を多く取り入れたり、短期集中型にするなど必要な見直しを行う。また、修了者が成年後見の類似業務に従事できるよう努め、より質の高い候補者を確保していく。

鳴尾北幼稚園園後の  
跡地利用について

問 29年3月議会では、跡地は教育・子育て関連施設としての活用を考えるとの答弁だったが、その後の検討状況は。

答 子育て関連施設としての活用について、国の待機児童対策の動向や近隣の保育施設の整備状況などを勘案し、29年度末をめどに調査・研究している。▼その他の質問 生活困窮者について、ごみ削減について(質問時間59分)

坂上 明(政新会)

トップアスリートの  
育成について

問 「西宮市スポーツ推進計

画」の見直しを機に、トップアスリート育成のため、指導者の外部招聘をまず行い、さらに内部の指導者養成をも徹底させることが不可欠。考えを示せ。

答 議員のご指摘のとおり、外部指導者を招聘し、また、部活動顧問に対し指導方法などの研修をすることは有意義であり、必要なことであると考える。



西宮市体育協会について

問 西宮市体育協会は、昭和23年の設立以来、本市のスポーツ振興に多大に寄与され今日に至る。しかし千万円ほどの年間予算では「西宮市スポーツ推進計画」で挙げる体協の活躍は、到底不可能である。考えを示せ。

答 市・体育協会・スポーツセンターでの適切な推進体制の構築を検討する中で、協会の経営基盤の安定化を図り市の関与のあり方や支援内容を検討する。

阪急武庫川新駅の設置について

私が新駅について初めて質問してから10年、初めて市の行政(施設)方針に盛り込まれてから実に15年の時がたつ。新駅設置についての意志を述べよ。

市はこれまで新駅設置への取り組みを積極的に進めてきた。今後も関係機関との合意形成に向けた取り組みをより一層進め、新駅の早期実現に努める。(質問時間60分)

町田 博喜(公明党)

避難所でのトイレ確保と洋式化について

学校や公民館などの避難所のトイレの洋式化については、収容人員の多い施設の設置個数の状況や男女共用トイレの改修などを考慮し、優先順位、目標年次を決めて取り組むべきと考えるがどうか。

避難所となる全ての施設に対して一律に目標年次や目標量を定めて取り組むのは財源的にも厳しい。トイレの改修・洋式化は、施設の改修・更新時期等を捉え、コストを抑える工夫も施し、各施設の状況に応じて、

可能な限り目標年次も検討しながら、着実に進めていきたい。

インバウンド観光について

国は、観光立国推進基本法を制定して観光立国の実現に向けた取り組みを進めている。訪日外国人旅行者数も年々増加しているが、本市のインバウンド観光への取り組みを聞きたい。

各地で市民生活に及ぼす悪影響への対策が急がれる事例が増える中、住宅都市である本市では、外国人旅行者の誘客は特に慎重に取り組むべきだ。一方で、伝統的地場産品である日本酒は海外で人気が高まっているため、28年度に関係企業とインバウンド観光の勉強会を設け、協働で取り組んでいる。文教住宅都市の魅力への影響に最大限配慮しつつ、酒蔵地帯への外国人旅行者の誘客に取り組む。(質問時間49分)

村上 ひろし(維新の会)

事務事業評価のあり方について

第4次総合計画にある行政評価中心の行政マネジメントシステム確立のため、従来の事

務事業評価を住民参加型のプログラム評価に変えるべきでは。

事務事業評価はほぼ全事業の報告や点検に活用しており、廃止は難しい。プログラム評価については評価が定まっていないため、調査・研究を進める。

社会的インパクト投資について

最大限の結果(社会的インパクト)を得るために、社会的インパクト投資のような仕組みを取り入れていくべきでは。

民間のノウハウや資金を活用した課題解決の成果には注目しているが、投資家側の懸念など解決すべき課題があるため、先行事例の調査・研究を進める。(質問時間38分)

西田 いさお(無所属)

防犯カメラ設置補助事業について

補助したり、市直営となった時に団体設置分を引き取る考えは。

補助は30年度終了のため更新への補助予定はない。セキュリティ上、統一機種で一元管理するため、自治会等が設置したものを市が引き取り、ネッ

中央病院の設備投資について

中央病院には、市長就任の26年度から本年度までに約30億円を超える設備投資が行われようとしている。しかし多くは老朽化対策や耐震工事等で、単独移転整備計画を進めてい

れば必要ないものだ。これは無駄使いと考えるが、市長の考えは。

県立病院との統合に向けた施策は26年度に議会でも同意その後、意見書も2回にわたり全会一致で可決され、市と議会が一致して取り組んできた。ご提案の論点は、3年前の議会で既に十分議論されたと考える。



西宮市立中央病院

新体育館の建設に検討委員会の設置を

新時代にマッチした体育

館を造るため、検討委員会を設置して検討する必要があると思うが、そのような考えはないか。

別途委員会を設ける予定はないが、必要に応じて外部専門家をスポーツ推進審議会に招くなど、今後の西宮市に適した新体育館となるよう整備する。(質問時間52分)

八木 米太郎(ぜんしん)

名塩道路(東久保地区)進捗状況

国道176号名塩道路整備について、東久保地区(東久保く名塩山荘)の進捗状況を聞きたい。

東久保地区の区間延長は約2・4kmで、現在、用地買収の進捗率は約35%である。30年度に予定している名塩山荘バス停前の交差点付近の4車線化に向け、本年度から交差点の東側に擁壁を設ける工事を予定している。

名塩道路(生瀬地区)課題と見直し

同事業について、生瀬地区(名塩木之元く西宝橋)の見直しと課題についてはどうか。

木之元地区では、山側で





名塩道路 一木之元地区一  
(右が旧、左が暫定切り替え後の176号)

道路の改良工事中であり、29年10月上旬には、整備を終えた2車線部分に現在の道路を暫定的に切りかえる予定。生瀬地区では、川側への道路拡幅・トンネル工事などを順次進めるが、完成までには相当の事業量があり、国からまだ具体的な完成時期は示されていない。西宝橋のかけかえ工事は、一部で用地買収が必要であるほか、青葉台地区への交通確保のため仮橋を設ける。このため工事は濁水期に限られ、国道工事との調整が必要となるなど、通常より工期が長くなり、完成は35年頃になる見込み。工事が円滑に進むよう、引き続き国・県に働きかけ、地元調整などにも協力していく。

(質問時間52分)

山口 英治 (公明党)

市民集会施設の空白地域

解消への取り組みは

問 現在、市民集会施設の空白地域となっている広田小学校区について、その解決に向けた現在の進捗状況と整備完了のめどを聞きたい。

答 27年6月の公共施設適正配置審議会の答申で指摘された

とおり、広田地区が空白地域であることは認識している。整備の候補地については、周辺の公共施設の整備状況を把握しながら検討していくこととしているが、具体化には至っていない状況だ。今後、既存施設の活用も含めて検討し、候補地を提示できる段階において地域と協議していく。

障害児・障害者の

兄弟姉妹に心の支援を

問 障害児・障害者と一緒に

生活してきた兄弟姉妹に周囲が目を向け、声を聞くなどの心の支援が必要と考える。そのための環境づくりに向けた取り組みについて、市の考えを聞く。

答 障害児・障害者の兄弟姉妹への支援は必要と考えており、

兄弟姉妹からの相談はもちろん、周囲からの相談に際しても、兄弟姉妹の気持ちをおもんばかることが大切である。まずは、市

主催のフォーラムや事業所向けの研修で兄弟姉妹の気持ちに配慮した視点を持たせるなど、家族や支援者が兄弟姉妹にも目を向けられるような環境づくりに取り組んでいく。

(質問時間47分)



川村 よしと (政新会)

随意契約のあり方

見直しの期限は

問 市内のある団体との高額な契約が長い間続いている状態を改めるよう、約2年前から指摘してきたが、変わらないままだった。29年3月、その団体が約5億円の不正流用をしていたことが判明し、ようやくさまざ

まな見直しが始まったと聞いている。この見直しは30年度の事業を発注するまでに完了させなくては意味がないと考えるが、期限はいつまでにする予定か。

答 これらの契約の根拠となる取扱方針の抜本的見直しについては、遅くとも、具体的な発注計画を決める30年1月までに行う必要があると考えている。

病気などで特別対応が必要な生徒について

問 水泳の授業の際に、てん

かんの生徒に見守りを付ける必要があるが、小・中学校によって対応が異なる状態だ。また、人手不足や仕組みが存在しないことを理由に見守りを断られたとの話も耳にしている。この対応は、教育大綱の理念とは異なるものだ。通常学級の中で特別な対応が必要な生徒について、授業や学校行事における対応の方向性を定めるべきと考えるが、市の見解は。

答 病気等の状態を十分に勘案し、ニーズに合った適切な対応に努める。また、各学校が地域、保護者などと協力して教育活動を進められるよう支援する。

(質問時間56分)

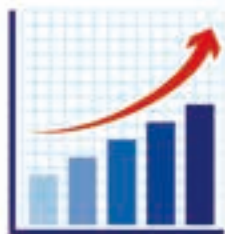
福井 浄 (維新クラブ)

資金確保のため

基金の一括・長期運用を

問 地方自治法では「基金を確実かつ効率的に運用しなければならぬ」とされている。資金捻出のため基金を一括運用した上で長期運用をしてはどうか。

答 各基金の目的や取り崩し予定などを踏まえた上で、財政状況なども勘案し、まずは中長期債券での合同運用を行いたい。



市民に分かりやすい

行政コストの説明を

問 市の公共施設や行政サービスのコストを、「市民1人当たりの税金投入額」などにより分かりやすく周知してはどうか。

答 利用者1人当たり・利用1件当たりというコスト提示は市政の理解を深めるのに有意義と考える。対象事業の選定や算出方法、広報手法等を検討する。

(質問時間40分)



上谷 幸美(政新会)

船坂地区く山口小学校

通学手段の確保を

問 19年に継続を求める意見書も提出されたが、137年の歴史で閉校した船坂小学校。閉校時には山口小学校への通学手段が最重要課題の一つとして議論され、バス通学となったが、27年秋のダイヤ改正で土曜・休日は始業時刻に間に合わなくなった。市は共用バスなどで対応中だが、これまでの経緯を踏まえ、船坂地区から山口小学校への通学手段は市が責任を持って確保すべき。平日も含めた今後のダイヤ改正への対策は。

答 これまでの経緯を踏まえ、土曜・休日の学校行事を確認しつつ必要な通学手段を確保する。また今後バスのダイヤ改正があれば教育委員会と都市局で連携し、バス事業者と十分協議する。

銭塚地蔵尊と詠歌踊り

後世に伝える仕組みは

問 浅草寺ともつながりのある銭塚地蔵尊と、そこで行われる詠歌踊りは私たちの誇りである大切な伝統文化だ。これらを存続し、後世に正しく継承する

ため、市が支援し、地域活性化につなげるべき。市の考えは。

答 銭塚地蔵・詠歌踊りを含む伝統芸能調査を30年度から実施予定。その結果を報告書や映像に残し、地域活性化のためウェブ配信などを検討中。

▼その他の質問 女性特有のがん検診について、バリアフリー情報について

(質問時間42分)

岩下 彰(市民改革)

義務教育の未就学者

への対応は

問 義務教育の未就学者数は7年前の国勢調査で全国12万8187人、兵庫県6271人、西宮市811人。実際はもっと多いと言われており、この中には夜間中学で学ぶことを希望する方が一定数含まれる。これらを受け、28年12月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が成立、29年春には義務教育費国庫負担法や文科省令が改正され、実情に応じた教育課程の編成が可能となった。本市には夜間中学がなく、市民は尼崎市の夜間中学に通っている

が、義務教育の機会を提供すべき教育委員会としての対応は。

答 義務教育の未就学については、未就学となっている個々の事情が不明なため正確な分析が困難ではあるが、年齢別の人数・性別等の実態を把握していく。また、夜間中学の課題検討の際は、現在実施中の識字学級を取り組みも踏まえて研究する。

学校司書の配置について

問 現在、市内の学校に専任の司書教諭がない状態だ。学校司書の配置には国の財政措置もあるため、配置すべきでは。

答 学校司書の配置が効果的であることは十分に認識しているが、その他にも専門職の配置を検討しているため、全庁的に調整し、検討する。

(質問時間55分)

長谷川 久美子(無所属)

市民緑地制度の広報について

問 市民緑地制度は緑地所有者と市などが契約を結び、住民利用に供する緑地として設置・管理する制度である。面積300㎡以上、契約期間5年以上で、

一般公開することなどが要件。所有者のメリットは維持管理・固定資産税等の軽減の他、契約期間20年以上等の要件を満たせば相続税の評価が2割減免されること。市のメリットは、子ども遊び場・住民参画の場を民間活力で提供でき、都市公園を整備するよりも行政の負担が減るなど。制度活用に向け、どのように広報していくのか。

答 市のホームページを改善し、写真やイラストなどで分かりやすく説明する。また、リーフレット類を窓口やイベント時に配布するなど広く周知を図る。

(質問時間26分)



上田 さち子(日本共産党)

国民健康保険料

引き下げを図れ

問 30年度から国民健康保険の財政運営が県に1本化されるが、保険料率は市独自で決定することに。市として一般会計から繰り入れるとともに、19億円の基金を活用して保険料の引き下げを図るべきでは。

答 財政安定化基金は保険料率上昇の抑制に活用できるが、経済状況の悪化など不測の事態における財源不足に充てるなどの目的もある。これを踏まえ、安定的な財政運営に活用したい。

敬老バス制度の実施について

問 高齢化社会における公共交通の充実を求める声が多い。西宮市では「高齢者交通助成制度」があり、一定の要件を満たす70歳以上の市民全員に交付される5千円分の割引証を使えば、自己負担分の5千円を合わせて1万円分のバス・電車・タクシーが利用できる。一方、芦屋市や尼崎市などでは、バスにしか使えないが、1年を通じて半額で利用できる「敬老バス」制度

で利用できる「敬老バス」制度

があり、喜ばれている。西宮市も敬老パス制度を創設し、現行の「高齢者交通助成事業」と選択できるような仕組みにすることを検討してはどうか。

答 システム開発費や運賃等、市とバス事業者に新たな費用負担が生じるため、敬老パス制度の実施は考えていない。今後も高齢者交通助成事業を継続する。

(質問時間62分)

中川 経夫(政新会)

新体育館構想

市長の考えは

問 国は、数千〜数万人の観客が収容できる大型スタジアム・アリーナを全国に20カ所整備すると決めている。本市も候補地として検討されているようだが、現在の市の構想では供用開始は7〜8年先で、日常的に人が集まり、多機能化・複合化された、地域戦略の起爆剤となる、いわゆる夢のアリーナ建設にはほど遠く、地域活性化の効果も低い。一部に昇格したBリーグのバスケットボールチームなどトップスポーツへの対応や高齢者・障害者など交通弱者への配慮も必要だ。市長の考えは

答 検討中の整備についてはBリーグチェアマンやストークスにも説明し、理解を得ている。パブリックコメントや計画立案議会への説明、予算審議等を考えれば、現行スケジュールは合理的であると考えている。

平和教育と自衛隊について

問 命を懸けて頑張っている自衛隊員の子どもたちが中学で学ぶ公民の教科書のほとんどに自衛隊違憲論が書かれている。何とも忍びない現状だ。自衛隊の意義をどう教えているのか。

答 学習指導要領では、国防衛や国際平和における自衛隊の役割に触れ、我が国の安全や国際貢献を考えさせることが大切とされている。今後とも学習指導要領に基づき指導していく。

(質問時間65分)

大川原 成彦(公明党)

就学前児童の

教育・保育無償化を

問 就学前児童の教育・保育の無償化について市としてどう取り組んでいくのか。

答 国の幼児教育の段階的無償化により無償となる世帯が増

えているほか、県事業で第2子以降の保育料が軽減されている。27年度には、市も独自に保育料を一部引き下げ、新制度に移行していない私立幼稚園の就園奨励助成金の所得制限も撤廃した。今後も国制度を活用し、保育料のあり方などを検討する。



上ヶ原地域の

交通対策について

問 関西学院大学周辺の交通対策について、大学側とのような協議をしているのか。

答 大学周辺の道路整備についての具体的な協議はこれからであり、道路管理者や公安委員会、バス事業者等と協議し、地域の意見も聞きながら進めたい。

阪急武庫川新駅について

問 フルバージョンの整備ではなく、最小限の整備を検討すべきだと考えるがどうか。

答 阪急電鉄も「段階的にまちづくりが進むなら開業時には最低限の整備で問題ない」との見解である。ただし、周辺で交通問題等が発生させないためのアクセス道路や駐輪場等の整備は必要ことから、関係機関と協議し、地域の意見も聞きながら早期整備への検討を進める。

(質問時間50分)

9月定例会  
主な審議日程

10月		9月											
4	29	28	27	26	20	19	15	14	12	11	8	7	1
水	金	木	水	火	水	火	金	木	火	月	金	木	金
決算特別委員会(採決)	決算特別委員会(民生・建設分科会)	決算特別委員会(総務・民生・建設分科会)	決算特別委員会(総務・健康福祉・教育)も分科会	決算特別委員会	決算特別委員会(全体会)	連合審査会(民生建設) 常任委員会(建設)	常任委員会(民生建設)	常任委員会(総務・健康福祉・教育)も分科会	本会議(一般質問(2人) 質疑、委員会付託)	本会議(一般質問(18人))	本会議(提案説明)	本会議(提案説明)	本会議(提案説明)

議員の辞職

上田さち子議員(日本共産党)が、平成29年10月4日付で市議会議員を辞職されました。この結果、市議会議員の現員数は39人となりました。

議会運営委員の辞任

まつお正秀議員(日本共産党)が、平成29年10月4日付で議会運営委員を辞任されました。

# 各委員会の活動状況

**常任委員会**は、市の事務を調査したり、議案や請願を審査するために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では、西宮市議会独自の取り組みである各常任委員会の「施策研究テーマ」や、「管内視察」「管外視察」について掲載しています。

長 委員長 副委員長

## 総務常任委員会

長 竹尾ともえ 副 わたなべ謙二郎  
大石 伸雄 杉山たかのり  
中尾 孝夫 村上ひろし  
やの 正史 山田ますと

29年度、総務常任委員会では施策研究テーマを「第5次総合計画期間に必要とされる施策について」と「第二庁舎(危機管理センター)の整備について」の2項目に決定しました。

### ▽第5次総合計画期間に必要とされる施策について

小項目として、①シティセールス・シティブロモーションについて、②財源確保対策の手法についての2点を挙げました。

①については、既に政策局からその現状を聴取しましたが、西宮市でも少子高齢化の進行に

よる人口減少は避けがたいものと予測されています。転入・定住の促進による将来人口の維持は、総合計画を進める上で西宮市の施策の根幹をなすものと考えます。「住みたいまち」「住み続けたいまち」など西宮の魅力を広くプロモーションする施策について、先進市なども参考にしながら市当局に提言していきます。

②については、第5次総合計画期間では着手済み的大型事業が本格化する一方、老朽化した公共施設の修繕や設備の更新などもあり、多くの費用が必要です。さらに、高齢化・人口減少などに伴う課題を解決するための事業費なども合わせれば、新たな財源確保は不可欠です。西宮市の収納対策における財源確

保の取り組みについては総務局からその現状を聴取しましたが、今後は市有地の売却・施設の統廃合・民間活力の活用など、先進市も参考にさまざまな角度から財源確保の手法を考え、市当局に提言していきます。

### ▽第二庁舎(危機管理センター)の整備について

これは30年度から建設が始まる大規模な公共事業で、これまで本庁舎の周辺にあつた消防局・上下水道局も入り、発災時には防災センターとして危機管理の拠点となる施設です。将来性や拡張性も考慮した、市民の生命・財産を守る施設となるよう、最終段階まで委員会として議論を重ねていきます。

■管外視察(10/25～10/27)  
藤沢市・流山市(シティセールス)

## 民生常任委員会

長 よつや 副 菅野 雅一  
佐藤みち子 篠原 正寛  
澁谷 祐介 西田いさお  
町田 博喜 山口 英治

29年度の民生常任委員会の施策研究テーマを決めるに当たって、まず、所管の市民局・産業文化局・環境局に関連する案を各委員から募りました。国民健康保険の運営の県への移管、特殊詐欺対策、買い物難民対策、ごみ処理の広域化、西宮市卸売市場再整備などが出されました。西宮市議会における常任委員会の運営指針「常任委員会運営ガイドライン」では、施策研究テーマは「広く公正・中立的な立場から社会問題や施策の研究・検証を図る目的で選定されるものとし、特定の個人若しくは団体等の利益又は特定の案件に対する賛否の誘導を目的とするも

のは選定できない」、また「調査・研究に必要な行動が直ちにとれるよう、具体的な項目でなければならぬ」と定められています。

これらの観点から、本年度は産業文化局が所管する「西宮市卸売市場について」をテーマとすることにしました。

卸売市場については、長らく市場関係者と西宮市との間で再生整備についての協議が重ねられてきましたが、25年度には西宮市卸売市場再生研究会が設立され、さらに29年度には施設計画案と再生整備スキームの見直しが始まりました。これらのことから、研究・検証にふさわしいテーマと考えたものです。

### ■管内視察(10/5)

西宮市卸売市場に赴き、現地で関係者からお話を伺いました。

### ■管外視察(10/23～10/25)

施策研究テーマの関連で、神戸市(公設地方卸売市場の廃止について)と伊勢崎市(地方公設卸売市場の民営化について)を視察しました。西宮市の卸売市場の形態は他市ではほとんど見られないのですが、両市への視察は「民営化」や「廃止」



がどのように進められたのかについて研究する意義があると考えています。

視察後は、行政視察報告書を各委員が作成し、公開します。また、今回は施策研究テーマにはなりませんでしたが、買い物難民対策に関する調査・研究のため、高崎市（高齢者買い物支援策について）と春日井市（移動販売事業について）を視察しました。これらの取り組みも自治体によって状況が異なりますが、西宮市と比較しながら調査していきます。

### 健康福祉常任委員会

- 長上谷 幸美 副八代 毅利
- 大川原成彦 川村よしと
- 野口あけみ 長谷川久美子
- 花岡ゆたか 八木米太郎

### ■施策研究テーマ

#### ▽障害に対する理解を深めるための具体的施策について

28年4月1日に障害者差別解消法が施行され、本市でも職員対応要領が策定されました。この法律では、障害を理由とした不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供が定められています。しかし、なぜ障害を理

由とした差別的解消の推進が必要なのか。まずは、その根本となる「障害とは何か」を市民の方々に広く理解していただくための取り組みが必要ではないかと考え、このテーマにしました。また、小項目として①就労に関する②普及・啓発に関する③の2つを設け、管内視察を通して①と②を、管外視察を通して③を研究します。その他にも、障害者差別解消法をめぐる現状を当局から聴取し、本市にふさわしい障害者福祉について協議していく予定です。また、社会福祉協議会が実施している「福祉学習実践」を委員自らが実践・体験して理解を深めていきたいと考えています。

### ■管内視察

西宮市社会福祉協議会が運営している地域共生館「ふれぼの」に伺い、重度障害者が地域での自立と社会参加を進め、安心していきいきと暮らせる活動拠点を視察する予定です。また、障害者が就労している作業所を視察し、作業現場や事業所の方々のお話も伺う予定です。

### ■管外視察（10/31、11/2）

次の4力所を視察し、調査・

研究してきました。

- ① 特別養護老人ホーム芙蓉苑（横浜市内）：介護ロボット普及推進の取り組みについて
- ② 相模原市：障害に対する理解を深めるための具体的施策について
- ※NPO法人れんきょう（相模原市障害児者福祉団体連絡協議会）が運営する情報発信ウェブサイト「きーくる」、ヘルプマークの配布について
- ③ 富士見市：あいサポート運動（障害者が暮らしやすい地域社会をみんなでつくっていく）と鳥取県で創設され、全国展開している運動「ヘルプカード」の配布について
- ④ 小山市健康医療総合支援センター：緑の健康づくりの森について

今後、これらの研究を生かし、市当局への提言につなげます。

### 教育子ども常任委員会

- 園吉井 竜二 副一色 風子
- 岩下 彰 坂上 明
- 庄本けんじ はまぐち仁士
- 福井 浄 松山かつのり

教育子ども常任委員会の施策研究テーマは①教職員の研修に

ついて、②外部人材の活用について、③在家庭の子育て支援についての3つです。

### ▽教職員の研修について

英語教育やICT教育、キャリア教育など、教職員に求められる能力は年々多様化し、多岐に渡っています。英語の授業ひとつ切り取っても、数年後には英語の授業を英語で行わねばなりません。教職員に課せられた職務は急を要し、かつハードルの高いものばかりです。本委員会ではこれらの問題を解決するため、先進的な研修等のあり方を研究し、本市の教育環境の向上に寄与したいと考えています。

### ■管外視察（10/18）

戸田市：産官学民連携による先進的な教師力向上教員研修について

### ▽外部人材の活用について

学校業務の多様化、部活動など、平素から教職員に課せられた業務量は社会問題になるほどの水準です。これらの緩和・解消に向け、外部人材を導入する効果が見込まれる業務や、そのメリットなどを整理する機会を提供したいと考えています。また、外部人材を導入するこ

とで、学校が開かれた学びの場になる可能性を探ります。

### ■管外視察（10/19）

船橋市：小・中学校運動部活動指導者派遣事業について

### ▽在家庭の子育て支援について

現在、西宮市だけではなく、子どもを保育所や幼稚園などに通わせていない在家庭の保護者の悩みや話を聞く機会が少ないことが問題となっています。しかしながら、本市はこの問題の解決に向けた決定打となるような施策を打ち出せません。そのため、本委員会で調査・研究を重ね、本市にフィットした提言を行い、在家庭で子育てをする保護者の負担軽減に寄与したいと考えています。

### ■管外視察（10/19、10/20）

松戸市：子育てコーディネーター事業について、石川県：在宅育児家庭への支援について

以上の3項目を本年度の施策研究テーマとし、教育環境の向上に尽力していく所存です。

これらの他にも「マイ保育園事業」を学ぶため、堺市も視察予定です。「在家庭の子育て支援」、「待機児童問題解消」に関するさらなる研究にも努めます。

建設常任委員会

長岸 利之 副大原 智  
河崎はじめ 草加 智清  
中川 経夫 まつお正秀

29年度の建設常任委員会の施策研究テーマは「高齢化社会における公共交通について」と「卸売市場整備を含むJR西宮駅南西部再開発について」の2件に決定しました。

▽高齢化社会における公共交通について

本件は28年度の建設常任委員会でもテーマにしておりましたが、29年度も引き続き調査・研究することにしました。今回は特にバス交通に絞って協議し、より具体的な施策につなげることを目的としています。8月24日開催の委員会では、28年度に市に提出した施策研究テーマの提言書のうち、特にバス交通について当局からの回答を聞き、各委員から意見・要望を伝えました。29年度は、この返答内容と11月の管外視察での調査・研究を踏まえた上で、12月にバス事業者との懇談会を予定しています。あくまでも非公開の意見交換会

ではありませんが、市とバス事業者の双方に利があり、実りのある懇談会にしたいと思えます。

▽卸売市場整備を含むJR西宮駅南西部再開発について

卸売市場に関しては、防災面や衛生面などに課題があり、長年の懸案事項でした。かつて西宮浜や鳴尾浜への移転計画がありました。その後、25年3月に西宮市卸売市場整備基本方針が策定され、現在地での整備が決まったものです。そこで、本年9月19日に民生常任委員会との連合審査会を開催し、当局から卸売市場再生整備事業を含むJR西宮駅南西部地区市街地再開発事業について説明を聴取しました。これからも、建設常任委員会として再開発事業を調査・研究し、提言につなげる予定です。

■管内視察(8/2)

8月に「西波止町他護岸前出し工事」、「高塚町開発事業」、「西宮市卸売市場」の3件について調査・研究しました。

■管外視察(11/15、11/17)

11月に次の5件について調査・研究しました。①豊田市「公共交通(バス)」に関する取り組

みについて、②豊田市「高齢者先進安全自動車購入費補助について」、③小田原市「小田原こども森わんぱくらんどにおける公園施設と指定管理について」、④市川市「本八幡A地区第一種市街地再開発事業について」、⑤千葉市「ちばレポについて」。



西宮市立西宮高校(特色選抜クラス1年生35人)7/21

▶生徒は議員席に座り、広報広聴特別委員長から市議会の仕組みについて説明を受け、政治への理解を深めることができました。「議員の仕事でいちばんしんどいことは？」など、実態に迫る質問も。

高校生が西宮市議会へ!?



— 同様の企画をご希望の学校関係者のみなさま、いつでも議会事務局にご連絡を! —



兵庫県立西宮今津高校(総合学科2年生17人)10/19

◀ 昨年に続き2回目のバーチャル市議会を開催。この授業は、西宮市への理解を深め、市民性を養うために西宮今津高校が企画したものです。生徒は議員席に座り、名札には紙製の自分の名札カバーをかぶせ、1日議員を体験。広報広聴特別委員長から市議会の仕組みなどの説明を受けました。

模擬一般質問では生徒が演壇に立ち、答弁役の議員へ鋭い質問を投げかけ、議論が白熱しました。記念撮影の後、議員と一緒にお昼ごはん。和やかな雰囲気の中で議員との会話を楽しみました。集合写真のピースの指がなぜ3本なのかは、ぜひ生徒の皆さんに聞いてみてください!

議案等審議結果一覧表

(平成29年9月定例会)

全会一致で可決されたもの

Table with 5 rows and 2 columns. Rows include: 市長提出 (決算, 予算, 条例, 一般案件), 提出議員 (決議).

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table with 12 columns (議員名) and 3 rows (市長提出, 議員提出). Columns include: 会派名等, 政新会, 公明党議員団, 日本共産党西宮市会議員団, 会派・ぜんしん, 市民クラブ改革, 維新プラス, 無所属.

採決結果の○は、提出された議案などが賛成多数で可決されたことを、×は否決されたことを示しています。

12月定例会の開催予定. Includes a calendar grid for December with dates and meeting types (e.g., 20水 予備日, 19火 本会議). Includes contact info for the Council Secretariat.

請願・陳情の提出に関するお問い合わせはこちらまで → 12月定例会で審査する請願・陳情の締め切り(予定)は、12月6日(水)午後5時までです。お問い合わせ先：議会事務局 議事調査課 TEL (0798) 35-3379

